

授業科目	保育実習指導Ⅱ					単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士			ナンバリング	CH31702J		
開講年次	2 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3				
担当教員	命婦 恭子、篠木 賢一、笠 修彰、池田 佐輪子								
授業概要	【実務家教員担当科目】 保育所実習 2 に臨むための必要な知識・技術を習得することを目的とする。事前指導としては、学内での講義や実務家教員によるグループワークなどを用いた演習などを通して、保育所実習 2 の意義・目的・内容・方法について理解し、実習課題を明確化する。また、実習記録の書き方、実習に関する事務手続きの方法についても説明する。事後指導としては、実習のふりかえりを通して、自己評価を行い、実習での体験を深める。 なお、保育所実習 2 を実施するためには、保育実習指導 2 への出席を必須条件とする。								
学生が達成すべき行動目標	1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所における保育士の役割について説明できる。 4. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を実践することができる。 5. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	0	0	70	30	100		
知識・理解 (DP1-1)					7	3	10		
知識・理解 (DP1-2)					7	3	10		
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)					7	3	10		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)					7	3	10		
関心・意欲 (DP3-2)					7	3	10		
態度 (DP4-1)					(70)	3	10		
態度 (DP4-2)					7	3	10		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)					7	3	10		
技能・表現 (DP5-2)					7	3	10		
技能・表現 (DP5-3)					7	3	10		
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について自分の言葉で説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を実習場面で場に適した態度で実践することができる。 4. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にし、自分の言葉で説明できる。				1. 保育所実習 2 の意義・目的・内容について講義内容にそって説明できる。 2. 保育所実習 2 に対する心構えを持ち、実習課題を明確にできる。 3. 保育所実習 2 において求められる基本的な保育技術を考え説明することができる。 4. 実習後のふりかえりでは、保育士の役割の観点から自己課題を明確にできる。					
授業計画									

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	保育所実習 1 のふりかえり(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習 1 での実習日誌を用いて、実習のふりかえりを行う	講義	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
2	実習のふりかえりと教材作成 1(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習 1 について個別のふりかえりを深めるとと並行して、保育所実習 2 に向けた教材作りを行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
3	実習のふりかえりと教材作成 2(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習 1 について個別のふりかえりを深めるとと並行して、保育所実習 2 に向けた教材作りを行う	演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
4	実習のふりかえりと教材作成 3(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習 1 について個別のふりかえりを深めるとと並行して、保育所実習 2 に向けた教材作りを行う	演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
5	実習のふりかえりと教材作成 4(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習 1 について個別のふりかえりを深めるとと並行して、保育所実習 2 に向けた教材作りを行う	演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
6	施設実習のねらいと内容(笠・命婦) 施設実習の自己課題について理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
7	実習に関する書類の作成(笠・命婦) 施設実習に必要な書類を作成し、実習に向けて準備をする。	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
8	それぞれの実習施設について1(笠・命婦) 実習先の特徴について調べて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
9	それぞれの実習施設について 2(笠・命婦) 各自の実習施設の特徴に合わせて準備をすすめる	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
10	実習記録の書き方(篠木・池田) 実習記録の中で、個別の観察と考察の書き方について解説し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
11	施設実習の記録の書き方(笠・命婦) 施設実習に特徴的な記録の書き方について開設し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
12	施設実習の指導案作成(笠・命婦) 施設実習における指導案作成のポイントを解説し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
13	保育所実習の指導案作成(篠木・池田) 保育所実習における指導案作成のポイントを解説し、演習を用いて理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
14	児童福祉施設の現場から(外部講師・笠・命婦) 特別講師として、児童福祉施設の職員を招き、施設の特徴や実習生に求めることなどの理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
15	施設実習の自己課題(笠・命婦) 施設実習に向けての自己課題の重要性を講義し、演習を用いて自己課題を設定する	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
16	実習2の自己課題(命婦・篠木・笠・池田) 保育所実習、施設実習それぞれの自己課題の受容性を解説し、演習を用いて自己課題を設定する	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
17	実習に関する書類の作成(篠木・池田) 保育所実習に関する書類の作成と検査書類などについての解説を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
18	実習の直前指導(命婦・篠木・笠・池田)	講義・演習	講義内容で不明な点は教科	15

	施設実習 1・2 および保育所実習2の直前指導を行う		書などを用いて確認する。	
19	実習後のふりかえり(命婦・篠木・笠・池田) 実習全体をふりかえる内容の講義と演習を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
20	施設実習1のふりかえり(笠・命婦) 施設実習1についてグループワークを用いながら、詳細にふりかえる	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
21	実習2のふりかえり(命婦・篠木・笠・池田) 保育所と施設における実習について講義と演習により詳細にふりかえる	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
22	保育士証の登録について(命婦・篠木・笠・池田) 保育士証の登録手続きについて解説を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
23	報告会の進め方について(命婦・篠木・笠・池田) 報告会の進め方について説明し、グループごとに準備を進める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
24	保育実習の個別のふりかえりと報告会準備1(命婦・篠木・笠・池田) これまでの実習について個別のふりかえりを実施すると同時に、グループごとに報告会の準備を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
25	実習報告会のリハーサル(命婦・篠木・笠・池田) 報告会のリハーサルを行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
26	実習の個別のふりかえりと報告会の準備 3(命婦・篠木・笠・池田) これまでの実習を個別にふりかえると同時に、リハーサルで得たアドバイスに基づいて報告内容の修正を行う	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
27	実習報告会1(命婦・篠木・笠・池田) 1年生に向けて、実習における学びを報告する	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
28	実習報告会 2(命婦・篠木・笠・池田) 実習での学びについて、1年生からの質疑を受けながら理解を深める	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
29	保育士資格について(篠木・池田) 保育士資格の取得と卒業後の手続きについて解説する	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
30	保育実習指導のまとめ(命婦・篠木・笠・池田) これまでの保育実習指導および保育実習での学びについてまとめる	講義・演習	講義内容で不明な点は教科書などを用いて確認する。	15
理解に必要な予備知識や技能	保育実習指導 1 において実習に臨むための以下のような基本的な姿勢、必要な知識を学んでおくことが望ましい。 基本的なマナーとコミュニケーションスキルを身につけること。保育所での協働について理解を深め、実習生としての役割を理解していること。			
テキスト	保育実習指導1と同じ			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	長島和代 2014 保育のマナーと言葉 わかば社			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	保育者としての自分の姿は子どもたちの健やかな発達にいい影響を与えることができるかどうか振り返ってみてください。
達成度評価に関するコメント	各種課題の記述内容、実習の目標・課題等の設定、自己評価、提出物の提出状況を評価対象とします。提出の遅延は大きく減点し、未提出は実習不可としますので留意してください。成績評価の内その他 30%は、受講態度や授業中のマナーを実習に参加するために必要な準備ととらえ評価対象とします。 学外での実習に臨む準備ができているかどうかを総合的に評価します。